



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和7年2月6日(木) NO.11

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「初心忘るべからず」

校長 田中 宏志

今から 600 年以上も昔の室町時代に、「初心忘るべからず」と唱えた人がいます。それは、能を大成させた世阿弥です。今回は世阿弥が言う“初心”の意味について紹介したいと思います。

「初心忘るべからず」とは、世阿弥が 40 代の頃から 20 年ほどかけて書いた『花鏡』という本に出てくるフレーズです。原文とその意味はこのようになっています。

『しかれば、当流に、万能一徳の一句あり。初心忘るべからず。』（さて、私達の流派にはすべてのことに通ずる一句がある。それは、「初心忘るべからず」である。）

ここで注意したいのが、世阿弥の言う“初心”とは「物事をはじめたばかりの謙虚な気持ちや初々しい志」のことではないという点です。ここでいう“初心”とは、「はじめての物事にぶつかる未熟な状態」の事で、簡単に言えば初心者を表します。初心者の時は、上手に物事ができないので失敗をします。未熟な自分を打破するため、努力や訓練を積み重ねる必要があります。つまり、慣れてからも怠慢な姿勢にならずに、未熟な頃を思い出して精進するべきである、と世阿弥は言っているのです。さらに『花鏡』には“初心”についてこう書いてあります。

是非の初心忘るべからず。
時々の初心忘るべからず。
老後の初心忘るべからず



世阿弥は、“初心”をこのように 3 つに分けています。世阿弥の論ずる人生の中では、初心は何度もあるもの。「是非の初心忘るべからず」は、判断基準になる初心者時代の未熟さを忘れるべきでない。「時々の初心」は、初心者から老年まで修行する中で、それぞれの時期における初心の段階を忘れるべきではない。そして「老後の初心」とは、年を取ったからと言って終わりではない、老年になっても初めての事があるのでやはり初心を持って芸を極めるべきである、という事です。

校長先生は新しい年を迎えるとき、「初心忘るべからず」という言葉を心に刻みます。それは、いくつになっても成長し続けることができると思っているからです。一度できたからといって習得したものを忘れてしまっては、過去に培ったものが全て身についていないことになります。いつまでも成長し続けようという強い気持ちをもって、自分の未熟さを忘れないことが大事だと思っています。

校長先生は津幡南中学校で学ぶみなさんにも、常に成長し続けるために、“初心”を忘れず頑張っていて欲しいと願っています。



TPOを意識した生活をしよう

Time・・・時・時間 Place・・・場所 Occasion・・・場面

スタート時間を守る行動	制服を着こなす行動
・朝の登校時間を守るために。 (朝学習・朝自習のスタート時間を守るために。) ・ベル学の時間を守るために。 (移動教室への移動は、休み時間中にするなど。) ・朝ホーム開始、給食準備開始、無言清掃の開始、 帰りホーム開始の時間を守るために。 ・部活動のスタート時間を守るために など	 - シャツは入れる - 名札の着用 - 肌着の色 - 中着の種類 - くつしたの色(白・黒) - 冬季スノトレの色(白・黒) ※「はばたき」で確認

「働く人に学ぶ会」「立志式」「各種入学試験」などで、日頃取り組んできたT・P・Oの成果が発揮できましたか？

「自転車に鍵をかける」

自分の物や自分の行動を、自分で管理できる(コントロールできる)力を身に付けていこう。

「もしかしたら、……、〇〇かも。」という危機感やリスクを考えることも大切な「力」です。例えば、

〇自分の持ち物に名前を書く → 「もしかしたら、落としても自分のところに返ってくる。」

〇自転車に鍵をかける → 「もしかしたら、盗まれるかもしれないから予防する。」

〇早めに行動する → 「もしかしたら、雪や雨で遅刻するかもしれない。」 など

「T・P・O」を通して、危機感やリスクを考えられる大人へと成長していこう。

★学習指導より★

◇2月の学習目標◇



学びを充実させ、次の学年へつなげよう

授業 大切な内容は何かを考えながら(集中して) **家庭** 習ったことはその日のうちに自分のものに(家庭学習の充実)

1. 学びを充実させるポイントは「家庭学習」！

高校入試に向けた学習を続けてきた3年生は実感があることかと思いますが、「学びを充実」させるためには、「学びを定着」させていくこと、つまり「できた」を増やしていくことが非常に重要です。「できた」を増やしていくためには授業の復習が何より大切です。では、効率的に復習を行う方法を皆さんは知っていますか？限られた時間で効果を最大化するために意識するポイントを紹介します。

復習をする際に意識してほしいポイントは3つです。①授業で分からなかったところ、②解き方を人に説明できないところ、③ワークやテストで間違えたところ、の3点です。今の自分の学習の中で意識できているでしょうか。ぜひ、自分の学習の中で意識して復習していき、授業や家庭学習での学びを充実させられるようにしましょう！

「できた！」を増やすために重要なのは……



復習



「できない」を見つけ、
「できる」に変える

2. 新年度は目前に！

新年度に向けて、今年度中にできるようになっていなければならないことをきっちり身につけられるようにしましょう。学習において各学年が目指す姿は以下の通り。成長を続けていきましょう！

【新学年に向けて】 1年生 「新入生の模範となる」 ・ベル学の徹底 ・授業終始の挨拶 ・提出物のべ切厳守 	【新学年に向けて】 2年生 「受験生としての 自覚ある行動」 ・学習習慣の定着化(講座) ・小テスト合格 ・自分の考えを積極的に表現 	【進学に向けて】 3年生 「新しいステージでの 大活躍の準備」 ・節度ある生活 (メディアコントロールなど) ・家庭学習習慣の維持 
---	--	---